

大田区立多摩川小学校

児童数：570名（令和元年5月1日現在）
 芝生化面積：2,200m²
 芝生化完成年度：平成25年度

子供・学校・地域・専門家の連携
 で安定した維持管理を

大田区立多摩川小学校
 倉光 佳子 副校長



校庭芝生化のスタート

本校は体育環境改善への要請や多摩川からの風じん対策もあり、芝生化に踏み切りました。全面芝生化の実現には、養生期間中に河川敷を第2校庭として使えることで運動量の確保ができたことも背景となっています。

芝生化されて7年目になりますが、導入初期は管理技術の未熟さや人手不足などによる様々な問題を抱えていました。



学校での取組

経験豊富な技術支援事業者による指導、グリーンサポート委員会の立ち上げ、たまパパ（親父の会）を中心とした芝刈りなど、関係各位の連携を図りながら工夫を重ね、現在は良好な芝の状態を維持できています。裸足デーをはじめ、上映会、子ども祭り、野点^{のだて}など、校庭を使ったイベントも活発です。

また現在、「芝生は使いながら育てよう」というアドバイスの下、芝の茂った部分は積極的に使い、裸地を補修するようにしています。

「グリーン大作戦」と呼ばれる補修作業では、子供たちが自ら育てたポット苗を自分たちで補植することによって、痛んだ芝生も再生できることを知り、生き物や自然に愛着を持つよい機会になっています。



芝生の役割とこれからの展望

この学校で学び、遊んだ経験が子供たちにとって宝になるよう、これからもより幅広い活用方法を考え楽しんでもらいたいと思っています。

また、緑の校庭が地域の人々にとっても憩いの場となるように願っています。そのためにも芝生に関わる全員が当事者としての気持ちを大切にしながら、協力していきたいと考えています。

